

神奈川芸術プレス Vol.104

January, 2012

CREATOR'S
VOICE

首藤康之

1

ARTS
PRESSES

KANAGAWA



CREATOR'S VOICE 123 ダンサー

首藤康之

世界初演

『鶴』～日本民話“鶴の恩返し”に主演

神奈川県民ホール 歌劇『タンホイザー』
～沼尻竜典(指揮者)インタビュー

県西エリアに注目!

KAAT 2月公演 地点『トカトントンと』

首藤康之

Yasuyuki Shuto ダンサー

世界初演『鶴』～日本民話“鶴の恩返し”に主演 心に残る、悲しくも美しい物語にしたい

日本を代表する男性ダンサーとして国内外で活躍している首藤康之。

これまでKAAT神奈川芸術劇場では、大スタジオで『DEDICATED』公演、中スタジオ等にて子どもたちのための夏期特別講習会を行ってきた。3月にはKAATオープニング1周年記念公演、NIPPON文学シリーズ第2弾として日英共同制作の新作『鶴』が上演される。

彼が出演する公演はどれも大人気、チケットの入手が困難なことでも知られている。そんな彼に新作について語ってもらった。

—『鶴』の演出・振付は英国ロイヤル・バレエ団のウィル・タケットさん。首藤さんはこれまでもさまざまな振付家とクリエイションされてきました。この人と作品と一緒に作りたい、と思うポイントはどこなのでしょう。

どのような創作のプロセスをたどっているんだろう、と思わせる作品を作る振付家に興味を持ちます。モリス・ベジャールさんの場合は先に楽曲が決まっていて、彼の頭の中には作品像も全部完成しているんだけど、いろいろ振り付けながら作品の素材を作り上げていき、最後に全部つながるとダンサーにも全貌がわかるんです。マシュー・ボーンさんはまずキャラクター作りから始まります。『スワンレイク』のスワン役の時は野生の白鳥の映像を見せられ、どういう白鳥を求めているかの説明を受けましたし、王子役の時はモデルである英国チャールズ皇太子の癖を教えられました。イリ・キリアンさんは、例えば一緒に踊る二人の体が合わさった時に、力むことなくどれだけ力が生まれるかといったことを考えて動きを追求していきます。シディ・ラルビ・シェルカウイさんと『アポクリフ』を作った時、最初にすることはお互いパソコンを開いてYouTubeで聖書、コーランに関する事柄を探す作業でした。それから見たものをダンスにしてみようとワークショップをやり、素材を100くらい考え作品の骨組みを形作っていきました。そんな風に作品の作り方って振付家によって本当に全然違うんですよ。ですから作品を見ていて一体どうやって作っていったんだ？と思えば思うほど、それを振り付けた振付家に強く関心を持ちます。



ウィルが振り付けた『兵士の物語』をロンドンで見
た時、演劇性もさることながら場面転換など、話の筋
を知っているにもかかわらず、台本にもすごく新鮮味
を感じました。どこから作っていきんだらうと思ひ、彼
のリハーサルそのものにも興味を持ったんです。

—全く自分とは違うバックグラウンドを持つ振付家や
ダンサーと一緒に作品を作る上で、戸惑いはありま
せんか？

最初は戸惑いますし、楽しむまでには少し時間が必要
です。ラルビたちと作っていった時は、まず彼らの考え、
感じ方をどんどん受け入れなければと思ったんです。
でも彼らを受け入れる一方ではなく、僕は東洋人なの
に西洋のクラシック・バレエを表現のベースにしてい
るとか、日本の古典では文楽が好きとか、そういう個
性をそのまま差し出せばいいんだと気づきました。
オープンになっていいんだと。どこまでわかりあえて
いるのかではなく、お互いの持っているものを充分に
情報交換することが大事なんです。あとはやはり共通
する感性があることはお互い本能的にわかるんです。
今回のウィルも同じで、僕のことを信用してくれていて、
僕が決めた後藤和雄さんのキャスティングもOKと行って
くれました。

—今回は日本人なら誰でも知っている“鶴の恩返し”
の話を英国スタッフと作りますね。

日本文学がテーマということで“鶴の恩返し”がいい
かなとふと思ったんです。そしてウィルたちなら、悲し
いばかりでなくエレガントで美しい作品ができるの
ではないかと。イギリス人は物語を語るのがとても上
手ですからね。音楽を藤原道山さん、ウィルとよく一
緒に仕事をするポール・イングリッシュビーさんのお
二人に、衣裳をワダエミさんに、と。日本で初演する
ということで、ウィルたちはいろいろ楽しんでアイデア

を練っていますよ。ロンドンで人気のミュージカル
『War Horse』に登場する馬はパペット(操り人形)な
のですが、今回それを作ったチームが鶴のパペットを
作ってくれるんです。クリエイションチームも魅力的
ですよ。

—英国スタッフには、鶴が自らを傷つけてまでも恩返
しをする心情を理解してもらえたのでしょうか。

恩返しのために自分の羽を抜いて血だらけになって
織物を織るという自己犠牲は、とても日本的であるよ
うに思いますよね。わかるだろうかと尋ねたら、彼らは
自分たちにも理解できると言っていました。僕は悲しさ
ばかりでなく何か幸せを感じられるような作品にしたい
んです。劇場を出たら光が見えるような気持ちにな
ってほしい。もちろんあらゆる世代に共感できる
ストーリーですから、子どもたちにも見てほしいです。
“幸せを感じられる悲しい物語”、これを実現させるに
はとても難しい課題も多いのですが、ウィルはそうい
う世界観を作り出すのがとてもうまいので、僕自身も
どんな風に仕上がるかすごく楽しみにしているんです。



首藤康之(ダンサー)
Yasuyuki Shuto

15歳で東京バレエ団に入団。『白鳥の湖』『ジゼル』等
の古典作品のほか、モリス・ベジャールの『ボレロ』
など現代振付家の作品に主演。

2002年～05年、マシュー・ボーン振付『SWAN LAKE』
(ザ・スワン/ザ・ストレンジャー、王子)出演。04年以
降東京バレエ団特別団員。07年、自身のスタジオ
「THE STUDIO」をオープン。シディ・ラルビ・シェル
カウイ振付『アポクリフ』をベルギーで世界初演、現在
もヨーロッパ・ツアー中(10年に日本公演)。08年、小野
寺修二振付・演出『空白に落ちた男』初演(10年に再演)。
09年から中村恩恵とのコラボレーションが始まり、
中村恩恵振付『The Well-Tempered』や『時の庭』を
発表。11年『DEDICATED』で『ブラックバード』(イリ・キリ
アン振付、中村恩恵共演)出演、小野寺修二構成・演出
『ジゼル&ハイド』初演。『Shakespeare THE SONNETS』
(中村恩恵、首藤康之構成・演出/中村恩恵振付)初演。
第42回舞踊批評家協会賞受賞。12年、1月より自身の
ドキュメンタリー映画『今日と明日の間で』が全国順次
公開予定。

取材・文 結城美穂子
写真 大野純一

オフィシャル・サイト：<http://www.sayatei.com/>

NIPPON文学シリーズ第2弾

日英共同制作

『鶴』～日本民話“鶴の恩返し”

3月16日(金)～18日(日)

KAAT神奈川芸術劇場<ホール>

主演：首藤康之

演出・振付：ウィル・タケット

出演：クリストファー・マーニー

キャメロン・マクミラン

ナオミ・コピー

ヌーノ・シルバ

後藤和雄

チケット料金：S8,500円

A6,500円

インターネット予約(24時間)

URL <http://www.kaat.jp/>

☎045-662-8866

(チケットかながわ：10時～18時)



COLUMN 今月の小コラム

首藤康之さんにQ&A

—首藤さんにとって横浜はどんなところ
ですか？

最近、横浜は僕にとって近い場所になりま
した。少し遠いイメージがあったのですが実際
は渋谷から30分足らずですし、今では好きな
場所です。道路が広くて開放的、光もきれい、
海もある。自由でいいと言ってくれている
ような街だと感じています。

—神奈川県民ホールではバレエ団の公演
でも、何度もステージに立られていますね。

ホールと街とが一体になっている感じがして
いいですね。ホールや劇場は身近だけれど
素敵なものが見られる特別な場所、未来のある
場所、気持ちのいい場所。KAATもそうなる
ほしいと思います。KAATのホールで公演する
のは、僕は今回が初めてで楽しみなんですよ。

神奈川県民ホール・びわ湖ホール・東京二期会・京都市交響楽団・神奈川フィルハーモニー管弦楽団共同制作

歌劇『タンホイザー』

沼尻竜典(指揮者)インタビュー

「ワーグナーには繊細なところも、ユーモアもたくさんある。すべてが魅力です。」



in San Diego Opera's Tannhäuser photo ©Cory Weaver, 2008



©Ryoichi Aratani

沼尻竜典(指揮者) Ryusuke Numajiri, conductor

びわ湖ホール芸術監督、
群馬交響楽団首席指揮者兼芸術アドバイザー、
日本センチュリー交響楽団首席客演指揮者、
トウキョウ・モーツァルトプレーヤーズ音楽監督。
1990年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝。
以来ロンドン響、モントリオール響、シドニー響、ベルリン・ドイツ響、
ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響、パリ室内管、ケルン、ミュンヘン、
ベルリン・コーミッシェ・オーパー、インスブルック等欧米各地の
オーケストラ、歌劇場へ客演している。

びわ湖ホール芸術監督、群馬交響楽団首席指揮者、
トウキョウ・モーツァルトプレーヤーズ音楽監督
などを兼務する沼尻竜典氏は、現在、
最も活躍している日本人指揮者の一人である。
2010年はびわ湖ホールでワーグナーの
『トリスタンとイゾルデ』を手掛け、
11年はサイトウ・キネン・フェスティバル松本で
バルトークの『中国の不思議な役人』を指揮する
など、ますます意欲的な活動を繰り返している。
08年のR. シュトラウスの『ぼらの騎士』以来、
神奈川県民ホールとびわ湖ホールの
共同制作によるオペラ・シリーズ
(『トゥーランドット』『ラ・ボエーム』『アイダ』)の
すべてを指揮してきた沼尻氏に、ワーグナーの魅力、
今回の『タンホイザー』の見どころ・聴きどころ
などについて語っていただいた。

—神奈川県民ホール&びわ湖ホールの共同制作オペラでは初めてのワーグナーとなりますが、沼尻さんにとってワーグナーの魅力はどこにありますか？

音楽の手触りが独特ですよ。ワーグナーの音楽には「毒」があると「魔力」があると言いますが、まさにその通りです。暗闇とそこに突然現れる閃光や、風と樹木の絡み合う感じ、エロティックなシーンでの曼荼羅のような色彩。「厚重的」というイメージだけで語られがちなワーグナーですが、繊細なところも、ユーモアもたくさんある。私にとってはすべてが魅力的です。

—『タンホイザー』の聴きどころをお教えてください。

序曲は世界中のオーケストラのスタンダードなレパートリーだし、そのほかにもガラコンサートなどで単独で歌われる曲がいくつもあります。プラスのファンファーレや合唱はカッコいいし、神聖な音楽とエロティックな音楽との対比がとても分かりやすいので、ワーグナーの舞台を初めてご覧になる方にもおすすめですよ。

—今回の『タンホイザー』は、カラヤンとも縁の深い大御所ミヒャエル・ハンペさんの演出ですね。サンディエゴでのプロダクションをベースにされると聞きましたが、舞台の見どころについてお話しいただけますか。

カラヤンがザルツブルクで活躍していた時代を彷彿とさせる、古き良き時代の香りのあるプロダクションと言って良いでしょう。装置も衣装も正統派ですから、音楽がそれに負けないように頑張らないと。

公演情報

ワーグナー作曲 歌劇『タンホイザー』全3幕(ドイツ語上演・日本語字幕付)

3月24日(土)14:00開演、25日(日)14:00開演
神奈川県民ホール 大ホール

SS席15,000円、S席12,000円(Sペア21,600円)、
A席9,000円、B席7,000円、C席5,000円、
D席3,000円(売切)、学生(24歳以下)2,000円

指揮:沼尻竜典

演出:ミヒャエル・ハンペ

合唱:びわ湖ホール声楽アンサンブル、

二期会合唱団

管弦楽:神奈川フィルハーモニー管弦楽団

<託児>2,000円

(要事前申込:チャイルドサービス遊)

☎045-790-4105 月~土・9:00~18:00

■チケット

チケットかながわ ☎045-662-8866(10時~18時)

インターネット予約 URL <http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>

3月10日(土)、11日(日)びわ湖公演あり。お問合せ:びわ湖ホールチケットセンター ☎077-523-7136

24日(土)出演



水口聡
(タンホイザー役)



佐々木典子
(エリーザベト役)



並河寿美
(ヴェーヌス役)



大島幾雄
(ヴォルフラム役)

25日(日)出演



福井敬
(タンホイザー役)



安藤赴美子
(エリーザベト役)



小山由美
(ヴェーヌス役)



黒田博
(ヴォルフラム役)

—今回で5回目となる神奈川県民ホール・びわ湖ホール共同制作ですが、その特徴は何でしょうか？ また、今回の2組のキャストについて、キャスティングされたポイントをお教えてください。

日本人歌手が所属団体に関係なく、しかも主演級も含めてキャスティングされるのは、規模の大きな公演ではこのプロジェクトだけでしょう。昔でいえば、東映と松竹の俳優と一緒に映画に出るようなものです。そう考えると、どれだけすごいことかお分かりいただけると思いますが(笑)。

—2010年秋にはびわ湖ホールで『トリスタンとイゾルデ』を取り上げられ、文化庁芸術祭優秀賞を受賞されました。これまでに手掛けられたワーグナーのオペラには他に何がありませんか？ また今後取り組みたいと思われる演目がありましたら教えてください。

20年近く前になりますが、『ワルキューレ』の第1幕を演奏会形式で取り上げたことがあります。今は東京フィルと合併している、当時の新星日本交響楽団の定期演奏会でした。ジークリンデが岩永圭子さん、ジークムントが成田勝美さん、フンディングが高橋啓三さん。オーケストラにとってもチャレンジングな企画でしたから、みんなで必死に演奏した思い出があります。

舞台でのワーグナー初経験は2005年、東京二期会名古屋公演の『さまよえるオランダ人』でした。東京公演ではエド・デ・ワールトさんの下で副指揮として勉強させてもらい、そのあとで本番が振れたので理想的でした。こういう形がいつでもできると、日本の若手指揮者には良いのですけど。

今後はローエン格林、マイスタージンガーと行きたいですね。どちらも規模が大きいので大変ですが、なんとかうまく企画して、いつか上演にこぎつけられれば…。

—神奈川県民ホールについてはどのような印象をお持ちでしょうか？ このホールでの思い出などお話しください。

小澤征爾さん指揮の『ボリス・ゴドゥノフ』のリハーサル見学に来たのが最初だったと思います。ピットなどを間近で見られたので、とても面白かったのを覚えています。日本語上演だったので内容もよくわかったし。

日本フィルの横浜定期がみなとみらいに移るまでは、県民ホールで開催されていたので、数回このステージで日本フィルを指揮しています。確か最後の県民ホール定期(※)が私の指揮だったと思います。

※1998年7月4日、日本フィル第145回横浜定期演奏会。
ベートーヴェン/交響曲第7番などを沼尻氏の指揮で演奏。

—横浜でお好きな場所はありますか？ 横浜での公演で楽しみにされていることは？

迷うことなく中華街とお答えさせていただきます。条例のおかげできれいな空気の中で食事ができる店が多くなり、ますます通う回数が増えました。朝ごはんにおかゆを食べたいがために、稽古期間中にホール周辺に宿泊することもありまして(笑)、ここまで行くとマニアですね。

(取材・文 山田治生)

COLUMN
今月の小コラム

ワーグナーの歌劇『タンホイザー』を楽しむために

『タンホイザー』は、序曲、行進曲、歌合戦、巡礼の合唱、アリアなど、見どころ・聴きどころ満載のオペラです。舞台は13世紀初頭、ドイツ・テューリンゲンのヴァルトブルク城。騎士で吟遊詩人の主役タンホイザーが、エリーザベトの純愛とヴェーヌスの官能的な愛との間で苦悩する物語です。

『タンホイザー』は、ワーグナーが30歳を越えた頃に書いた、彼の若き日の傑作。奔放で革新的な詩(芸術)によって人々を驚かせたタンホイザーは、ワーグナーの分身といえるでしょう。作品のテーマは、「プラトニックな愛か？ 官能的な愛か？」。タンホイザーは、「純愛」を象徴するエリーザベトと、「官能」を象徴するヴェーヌス(つまり、愛の女神ヴィーナス)の間で揺れ動きます。冒頭で描かれる、禁断の地ヴェーヌスベルクでのヴェーヌスとの歓楽のシーンは、このオペラの最初の見どころ・聴きどころです。

しかし、タンホイザーは、愛欲の日々を切り上げ、ヴァルトブルク城に戻り、歌合戦に出場します。課されたテーマは「愛の本質」。他の詩人たちの形式的な愛に辟易としたタンホイザーは、愛の歓楽を讃え、「ヴェーヌス讃歌」を歌ってしまいます。禁断の地にいたことを自ら暴露してしまった彼は、処刑されそうになりますが、テューリンゲンの領主の姪エリーザベトのとりなしによって、贖罪のためのローマ巡礼を領主から命じられるのでした。

それでも、ローマで教皇から赦しを得られなかったタンホイザーは、再びヴェーヌスの誘惑に心惹かれます。しかしそこに落ち着くこともできず、結局、エリーザベトが自らの命を捧げることによって、タンホイザーは救済されるのでした。女性の犠牲による男性の救済は、ワーグナーの生涯のテーマでした。キーポイントは、エリーザベトが、純愛を貫きながらも、タンホイザーの官能的な歌にも共感を寄せていたこと。単なる二項対立、純愛讃歌に終わらせないところが、このオペラの素晴らしさです。

(文 山田治生)



ヴェーヌスベルクでのタンホイザー
(油彩画・1864年)

BAL / Uniphoto Press

ワーグナーは、中世の詩「ヴァルトブルクの歌合戦」や「タンホイザー」伝説などを素材として、自ら台本を書き上げました。ドイツ中世の騎士たちは宮廷吟遊詩人でもあり、ミンネゼンガーと呼ばれていました。

雄大な序曲の旋律は、多くの方がドラマやテレビCMで耳にされているでしょう。トランペットのファンファーレが歌合戦の開始を告げる「行進曲」は合唱も加わる壮大な音楽。男声による厳かな「巡礼の合唱」も聴きもの。アリアでは、エリーザベトがタンホイザーの帰還を喜ぶ「殿堂のアリア」、彼女がタンホイザーの救済を祈る「エリーザベトの祈り」、タンホイザーによる「ヴェーヌス讃歌」、そしてタンホイザーの親友ヴォルフラムがエリーザベトへ思いを寄せて歌う「夕星の歌」など、名曲がずらりと並びます。『タンホイザー』は、長大で知られるワーグナーのオペラのなかで、最も親しみやすい作品に違いありません。

神奈川芸術プレス ニュース

地点『トカトントン』の公開稽古 行われる

2月にKAAT神奈川芸術劇場(大スタジオ)で行われる地点『トカトントン』の稽古が報道関係者に公開され、演出の三浦基が新作について語った(12月1日)。

公開稽古は20分ほど、建築家・山本理顕による舞台美術を一部使って行われ、床面が見えない特殊な舞台設定が披露された。

KAATとの共同製作2作目で、最も信奉する作家、太宰治を取り上げる三浦基は、「観劇体験が読書体験を凌駕するようであれば、芝居をつくる意味がない」と、戦後の虚無感をテーマにした名作に挑む思いを熱く語った。1月からは公演の行われる大スタジオで稽古を行う。



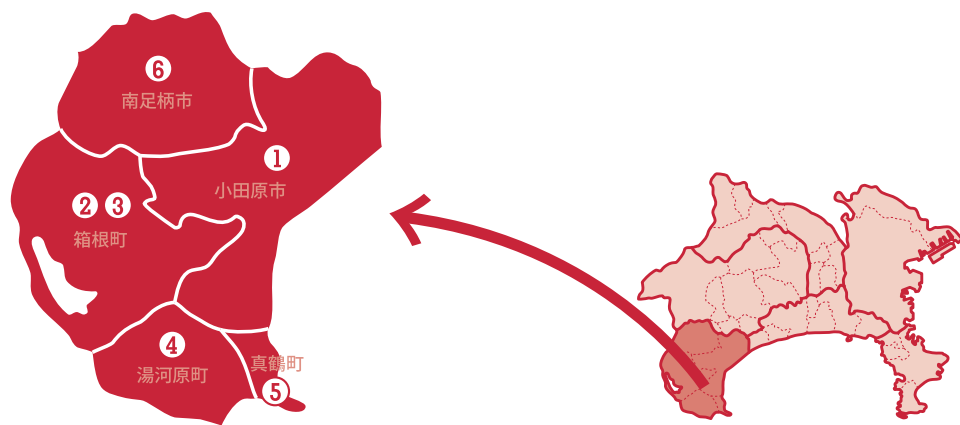
(公演情報は7ページ)

撮影:松本久木

県西エリアに注目!

城下町小田原、日本有数の温泉地・箱根と湯河原、漁港で有名な真鶴、「金太郎のふるさと」南足柄。歴史情緒あふれるエリアで、春の訪れを感じてください。

県西エリア



南足柄市・大雄山最乗寺の節分豆まき祭
写真提供:大雄山最乗寺

① 県立 生命の星・地球博物館

「地球」と「生命」について体感しながら学ぶことができる。現在は企画展「箱根ジオパークをめざして—箱根・小田原・真鶴・湯河原の再発見!—」を開催中(～2月26日(日))。ジオパークとは、地球活動の遺産を見どころとする自然の公園のことで、ユネスコが支援する。企画展では構想中の「箱根ジオパーク」の概要が紹介されている。企画展は無料。常設展は別途観覧料あり。お問合せ:☎0465-21-1515

② 箱根町立 森のふれあい館

箱根やすらぎの森の中心的施設で、動物や自然の展示を行っている。現在は、開館20周年特別企画「森と川のいきもの」(～3月22日(木)まで)と企画展「動物の冬越し展」(～2月28日(火)まで)を開催中。開館時間:9:00～16:30(2月末まで/春～秋期は17:00まで)。入館は閉館30分前まで) 年中無休 入館料:大人650円、65歳以上600円、中学生650円、小学生400円 土日祝は小中学生無料 お問合せ:☎0460-83-6006

③ 箱根 彫刻の森美術館

1969年に開館した国内で初めての野外美術館。箱根の山々を望む緑豊かな庭園に、近現代を代表する彫刻家の名作約120点が常設展示されている。本館ギャラリーでは3月11日(日)まで「山本基 しろきもりへ—現世の杜・常世の杜—」を開催中。開館時間:9:00～17:00(入館は16:30まで) 年中無休 入館料:大人1,600円、65歳以上および大学・高校生1,100円、中学・小学生800円 お問合せ:☎0460-82-1161

④ 町立 湯河原美術館

湯河原の地にゆかりの作品を集める美術館。隣接する日本庭園では四季折々の景色を楽しむことができる。常設館のほかに、平松礼二館では、日本画壇の第一線で活躍する平松礼二氏の近年の作品を展示する「伝統と革新～日本画再発見」を開催中(～3月26日(月)まで)。開館時間:9:00～16:30(入館は16:00まで) 水曜休館(祝日の場合は翌日) 観覧料:大人600円、小中学生300円 お問合せ:☎0465-63-7788

⑤ 真鶴町立 中川一政美術館

真鶴にアトリエを構えて制作を行った洋画家、中川一政から作品を寄贈され1989年に開館。館内にアトリエを復元している。画伯の命日(2月5日)を挟む1月19日(木)～3月6日(火)の期間中、絶筆となった『静物 薔薇』が展示される。開館時間:9:30～16:30(入館は16:00まで) 休館日:第1・第3水曜日(祝日の場合は翌日) 観覧料:大人600円、高校生以下350円 お問合せ:☎0465-68-1128

⑥ 南足柄市 郷土資料館

南足柄市の歴史と文化を紹介する常設展示のほかに、2月14日(火)～3月31日(土)は、冬期特別展「雛の競艶～森と里のひなまつり」を開催。江戸時代の享保雛も特別に展示し、江戸・明治・大正・昭和の雛人形が勢ぞろいする。開館時間:9:30～16:30(入館は16:00まで) 月曜休館(祝日の場合は翌日) 入館料(冬期特別展開催時):大人300円、小中学生無料 お問合せ:☎0465-73-4570

*事前に各施設にお問合せのうえ、お出かけください。

神奈川フィルハーモニー管弦楽団 演奏会案内

オーケストラ名曲への招待～ハ短調の慟哭～

2月5日(日)14:00開演 グリーンホール相模大野

指揮:サッシャ・ゲッツェル ピアノ:三船優子

グリムカ/歌劇「ルスランとリユドミラ」序曲、

ラフマニノフ/ピアノ協奏曲第2番、ブラームス/交響曲第1番

S4,000円 A3,000円 B2,000円 学生(25歳以下)・シニア(65歳以上)各席種半額

第278回定期演奏会

2月17日(金)19:00開演 横浜みなとみらいホール

指揮:金聖響 ピアノ:横山幸雄

ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第1番、マーラー/交響曲第1番「巨人」

S6,000円 A4,500円 B3,000円 学生(B席)1,000円

※シニア(70歳以上)は各席種2割引



金聖響

お問合せ:神奈川フィル・チケットサービス ☎045-226-5107(平日10:00～18:00)

<http://www.kanaphil.com/> ※未就学児のご入場はご遠慮ください。

県立神奈川近代文学館 企画案内

没後10年 中藺英助展 —〈記録者〉の文学—

(同時開催「文学の森へ 神奈川と作家たち」展 第3部、2011年度新収蔵資料展)

中藺英助は、日本における国際スパイ・ミステリーの第一人者として知られる一方、青年期の中国体験をもとにした純文学作品でも高く評価されています。

横浜・大倉山を終の棲家とし、神奈川文化賞を受賞した県ゆかりの作家でもあります。

歴史の多重性を凝視し、人間の真実の姿を見届けようとする姿勢は「歴史に空白あるべからず」の一言に表されます。

本展では没後10年を記念し、生前の作家とご遺族から寄贈を受けた原稿などの資料をもとに、その生涯と作品を紹介します。

3月3日(土)～4月22日(日) ※月曜休館

一般400円、65歳以上・20歳未満及び学生200円、高校生100円、中学生以下は無料

県立神奈川近代文学館 第2展示室

〒231-0862 横浜市中区山手町110 ☎045-622-6666 <http://www.kanabun.or.jp/>



撮影:秋山庄太郎
©秋山庄太郎写真美術館

KAAT 2月公演 地点 『トカトントンと』

原作:太宰治 演出・構成:三浦基(地点代表)

京都を拠点に活動する劇団地点とKAATの共同製作によるNIPPON文学シリーズ第2弾。
 太宰治の傑作短編『トカトントン』に、『斜陽』の物語が交錯します。

いったい、あの音はなんでしょう。

虚無などと簡単に片づけられそうもないんです。

あのトカトントンの幻聴は、虚無をさえ打ちこわしてしまうのです。

(太宰治『トカトントン』より)

何か物事に感激し、奮い立とうとすると、どこからともなく聞こえてくる「トカトントン」という音。

この音を聞いた途端、なにもかもがどうでもよくなって来る――。

玉音放送から始まる奇妙な現象。

何にものめり込むことができない〈虚無〉を描写した、ユーモア漂う太宰治の傑作短編を三浦基が舞台化。

さらに代表作『斜陽』の物語が交錯します。

横浜を拠点に国内外で活躍する建築家・山本理顕が、舞台美術を初めて手掛けます。

2月9日(木)～14日(火) KAAT神奈川芸術劇場 大スタジオ

出演:安部聡子、石田大、窪田史恵、河野早紀、小林洋平

全席自由(入場整理番号付)3,500円(▲プレビュー公演2,000円)

※U24チケット、高校生以下割引、シルバー割引あり

	2/9 (木)	10 (金)	11 (土・祝)	12 (日)	13 (月)	14 (火)
15:00			●	○		●
19:30	▲	●			●*	

▲プレビュー公演 ○託児サービスあり *19:00よりプレトークあり

三浦基に聞く「作家・太宰治の魅力とは？」

ずば抜けて筆力が高いところ。戦中戦後、特に戦中は検閲があったので『お伽草紙』『右大臣実朝』など歴史的な、当たり障りのない題材で書いてますが、そういった作品でも太宰は職人作家として、あるクオリティを常に保っている。戦後になってからもスタイルはぶれず、「語り」の技術によって質の高い作品を書き続けた。

太宰というと、どうしても『人間失格』や心中のエピソードで、極めて破天荒な人間という印象を与えていますが、僕の評価は「真の職人作家」です。教科書に載る『走れメロス』からユーモア溢れる短編まで、「これが同じ作者なのか？」と思うほど上手い。僕は非常に尊敬しています。珍しいです。すからね、僕がチャーホフ以外の作家を褒めるのは(笑)。

その太宰と演劇を介して向き合えるのは、本当にありがたいチャンスだと思っています。さらなる広がりも感じている企画ですね。



©松本久木

※インタビュー全文は『トカトントンと』特設サイトで公開中です。
<http://chiten-kaat.net/>

三浦基



地点『Kappa/或小説』(2011年) ©橋本武彦

チケットの
お求めは

インターネットチケット予約(24時間受付)
<http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>

チケットかながわ 045-662-8866 (電話10:00～18:00)
 (芸術劇場窓口10:00～18:00 / 県民ホール窓口10:00～18:00 / 音楽堂窓口13:00～17:00月休)

TPAM in Yokohama 2012 (国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2012)

昨年度に引き続き、KAAT神奈川芸術劇場をはじめ、ヨコハマ創造都市センター(YCC)、BankART Studio NYK、横浜赤レンガ倉庫1号館など、関内・山下町周辺会場でTPAM in Yokohama 2012が開催されます!

先鋭的なダンスや演劇のショーケースや公演、アーティストによるプレゼンテーションプログラム、セミナーなど盛りだくさんのプログラムです。横浜から発信する舞台芸術のプラットフォームをぜひ体感してください!

2月13日(月)～19日(日)

※各プログラムの概要や参加方法は、順次ホームページなどで発表します。

※TPAMと一緒に盛り上げてくれるボランティアスタッフを募集しています。(下記へお問合せください)

主催:国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2012 実行委員会

お問合せ:事務局(国際舞台芸術交流センター) ☎03-5724-4660 <http://www.tpam.or.jp/>

NIPPON文学シリーズ第2弾 KAAT式らくごの会～文学しばり 柳家喬太郎、桂吉坊

3月20日(火・祝) 13:00開演、17:00開演

KAAT神奈川芸術劇場 大スタジオ

全席指定 一般3,500円 昼夜セット券 6,000円

※U24チケット、高校生以下割引、シルバー割引あり

(詳細はチケットかながわへ)

発売日:KAme1/17 一般1/29

(セット券先行 KAme1/7 一般1/10)

あなたが支える。あなたが楽しむ。
 あなたとつくる、カナガワの芸術と文化。

賛助会員募集のご案内

公益財団法人神奈川芸術文化財団では、質の高い芸術作品の提供と普及のため、賛助会員の制度を設立し、広くみなさまのお力添えをいただいております。税制上の優遇措置、ご芳名の掲載等、様々な特典もございます。

詳しくは広報営業課までお問合せください。公益財団法人神奈川芸術文化財団 広報営業課 ☎045-633-6520

公益財団法人神奈川芸術文化財団 賛助会員

法人賛助会員

愛知株式会社
 株式会社アクトエンジニアリング
 株式会社浅岡装飾
 株式会社朝日工業社横浜支店
 アサヒビル株式会社
 学校法人岩崎学園
 株式会社ヴォートル
 株式会社NHKアート
 株式会社勝烈庵
 神奈川県信用保証協会
 神奈川県民共済生活協同組合
 神奈川県理容生活衛生同業組合
 株式会社神奈川保健事業社
 神谷コーポレーション株式会社

カヤバシステム マシナリー株式会社
 川本工業株式会社
 かをり商事株式会社
 株式会社キョウエイ装飾
 株式会社合同通信
 香山壽夫建築研究所
 財団法人シルクセンター国際貿易観光会館
 錦廣かまぼこ株式会社
 生活協同組合コーパナガワ
 生活協同組合パレステム神奈川ゆめコープ
 生活クラブ生活協同組合
 株式会社清光社

株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズ
 大栄電子株式会社
 月島機械株式会社
 株式会社テレビ神奈川
 株式会社東急スペース開発
 東工株式会社
 東神工芸株式会社
 ナイス株式会社
 奈良建設株式会社
 株式会社日建設
 日産自動車株式会社
 日産工株式会社
 株式会社野毛印刷社
 パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社
 株式会社日立システムズ
 株式会社ホテル、ニューグランド

丸茂電機株式会社
 三沢電機株式会社
 森平舞台機構株式会社
 株式会社山武
 ヤマハサウンドシステム株式会社
 株式会社有隣堂
 株式会社豊商會
 株式会社ユニコーン
 株式会社横浜アーチスト
 横浜エレベータ株式会社
 横浜新都市センター株式会社
 横浜信用金庫
 株式会社横浜ステーションビル
永年個人賛助会員
 川村恒明

個人賛助会員

江田真子
 三角京子
能舞台協賛
 ナイス株式会社
協力
 神奈川県総合設備株式会社
 神奈川トヨタ自動車株式会社
 崎陽軒
 コカ・コーラ セントラルジャパン株式会社
 鈴鹿かまぼこ株式会社
 株式会社東芝 首都圏南支社
 株式会社野毛印刷社
 野村證券株式会社横浜支店
 聘珍楼 横浜本店
 三菱地所株式会社 (匿名:1名)

KAAT神奈川芸術劇場 御協賛

朝日新聞社
 アサヒビル株式会社
 エバラ食品
 神奈川県信用保証協会
 かをり商事株式会社
 株式会社キタムラ
 崎陽軒
 株式会社合同通信
 株式会社ジェイコム湘南
 日産自動車株式会社
 株式会社野毛印刷社
 パナソニック電工株式会社
 ひあ株式会社
 株式会社日立システムズ
 株式会社ファンケル (匿名:1社)

公益財団法人ボラ美術振興財団 ボラ美術館
 株式会社ホテル、ニューグランド
 株式会社ソノバドウル
 株式会社みずほ銀行横浜支店
 株式会社豊商會
 横浜銀行
 株式会社横浜ステーションビル
 リスト株式会社
 (匿名:1社) (2011年11月30日現在)

WHAT'S ON? 11

横浜・山下町周辺のアート、コンサート、イベント情報ピックアップ

① NHK横浜放送局



FMサウンド★クルーズ

FM番組「FMサウンド★クルーズ」スペシャルジャズライブ 公開生放送

毎月第4水曜日18:00~19:00

出演者: 1月25日(水)石井彰(P)カルテット、2月22日(水)jammin'Zeb

土曜コンサート♪

毎週土曜日 ※詳細はホームページをご覧ください。http://www.nhk.or.jp/yokohama/

1階アトリウム 観覧自由(無料) お問い合わせ: ☎045-212-2822

② 急な坂スタジオ・のげシャレ・STスポット



『勲進帳』(2010年5月) Photo by Naoko Azuma

坂あがりスカラシップ公演

木ノ下歌舞伎: 2月上演予定 モモンガ・コンプレックス、マームとジブシー: 3月上演予定

「坂あがりスカラシップ」は、急な坂スタジオ・のげシャレ・STスポットが連携のもと、

稽古から舞台上演までトータルサポートする舞台芸術の創作支援プログラム。

今年は、京都から木ノ下歌舞伎が参加。次代を担う才能の発掘・育成を目指します。

お問い合わせ: 坂あがりスカラシップ事務局(急な坂スタジオ内) ☎045-250-5388

③ 県立音楽堂



藤森照信

音楽堂建築見学会Vol.2

2月1日(水) 15:00開演(14:00~14:45 ホール見学タイム)

《建築史家/建築探偵》藤森照信氏をナビゲーターに、自由な視点から音楽堂の歴史と

建築の魅力を再発見。音響体験ミニ・コンサート(カウンターテナー: 彌勒忠史)付き♪

全席指定 1,500円(定員400名)

チケット: ☎045-662-8866(チケットかながわ: 10:00~18:00)



KANAGAWA PEOPLE かながわ 05

逗子の街すべてが好きですが、ひとつ選ぶとしたら、市浄水管理センターの前の防波堤です。子どもの頃はそこから海に飛び込んだり、釣りをしたりして遊びました。高校生になると、そこは仲間と語り合う場所になりました。キマグレンが結成されたのもここです。僕らの今まで、そしてこれからのすべてがスタートした原点の場です。

逗子には、長年暮らしてきた人たちが醸し出す独特の空気感がありますね。穏やかで温かく、爽やか——色にたとえれば緑に包まれた青でしょうか。自然の恵みをしっかり受けた開放的な環境が、音楽をやりたいという気持ちに自然に誘ってくれたように思います。

逗子海岸の海の家ライブハウス「音霊」は、地元で活気を取り戻したいという目的で始めました。最初は仲間と集う小屋だったのですが、そこで音楽ができるようになって本当に幸せです。行けば誰かが待っていてくれる場を持つことが、誰にも心の支えになると思いますが、僕らにとって逗子の街がそれです。大好きな地元で活動拠点があることを、これからも大切にしていきたいです。



キマグレン(ミュージシャン)

ISEKI(ヴォーカル&ギター)、

KUREI(ヴォーカル)

逗子育ちの幼なじみ二人組。

毎年夏に海の家ライブハウス

「音霊」の運営もしている。

かながわ観光親善大使としても

活動。春にLIVEツアー実施。

森さんぽ 10

森日出夫さん撮影の写真でめぐる横浜散歩

元町ショッピングストリート

元町の入口にそびえるシンボルタワーのフェニックス(不死鳥)。開港時からの「伝統を受け継ぎながら、常に新しく生きるフェニックス」のイメージを元町に託して、1985年に建てられました。



県内のアート情報はここで探そう!

<http://www.kanagawa-at.info/>

「かな@」で県内のアート情報を検索できます。

かながわメンバーズ

Kame

KANAGAWA members

登録無料! メルマガ定期配信

横浜中華街にて128年目の味を

メニュー例

- 海老入り蒸し餃子 1個 220円(税・サービス料込)
- 中華街発祥 サンマー麺 1,166円(税・サービス料込)
- おこげの五目あんかけ 3,344円(税・サービス料込)

心の感動の次は味覚の感動の舞台

明治17年創業、聘珍樓横浜本店へ

県民ホール・芸術劇場より 徒歩5分

聘珍樓 HEICHINROU

土曜日は午後11時まで営業

ラストオーダー 午後10時

聘珍樓 横浜本店

横浜市中区山下町149中華街大通中央

TEL. 045-681-3001

へいちんろう